

廃棄ロスを減らせ！ 野菜の価格変動予測

ご購入はこちら

宇佐美 由久, 吉渡 匠汰

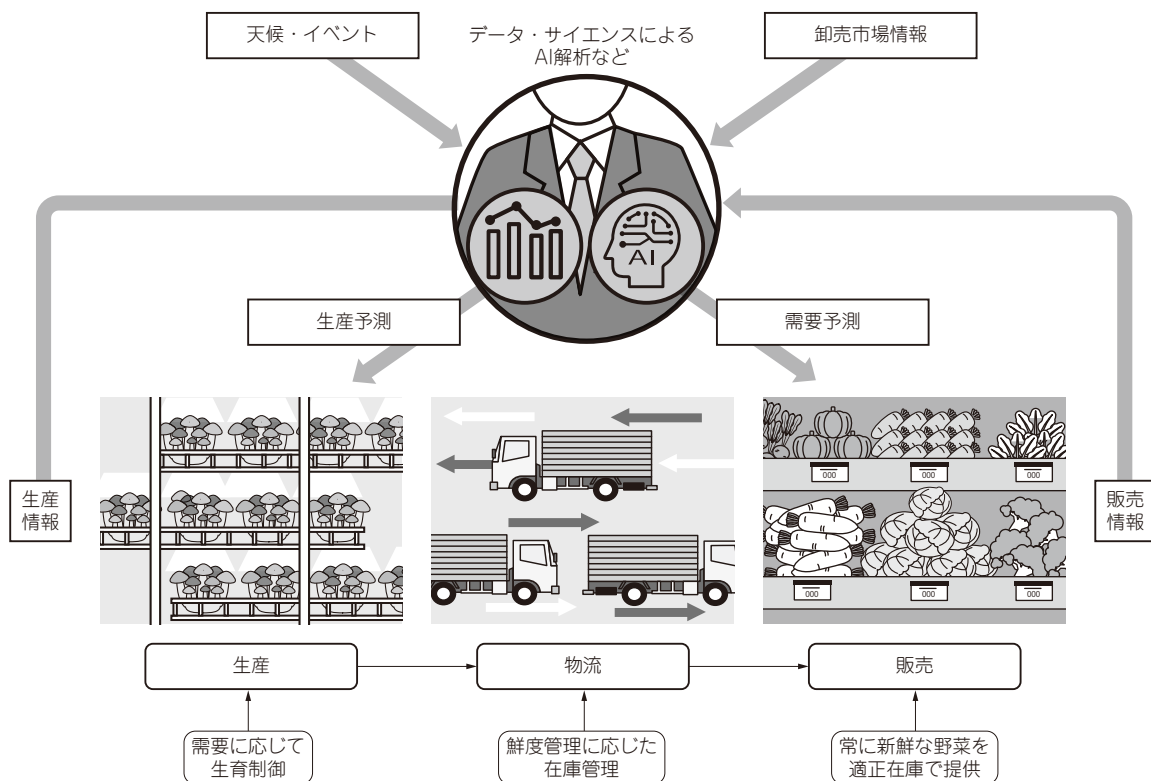


図1 データ・サイエンスの力を使えば農業をもっと高度化できるはず
野菜の価格変動予測サービス利用イメージ。農産物は価格変動の影響を受けやすく、場合によってはせっかく育てた作物を廃棄することもある。データ・サイエンスの力を使って価格変動を予測できれば、廃棄ロスや機会ロスを減らせるかもしれない

データ・サイエンスは、さまざまな分野で研究開発が進められています。その応用分野は製造業や小売業だけでなく、農業や材料の研究開発、組み込み機器開発の現場など多岐にわたります。

本稿では、農業分野での応用例として、データ分析によりレタスの卸売価格を予測する取り組みを紹介します。具体的には、気温、降水量、卸売価格などを変数とするPythonプログラムを作成し、1年分の価格変動を予測してみます。(編集部)

● データ・サイエンスによる農業高度化の可能性

▶ 現状…せっかく育てた作物を廃棄することも

農産物の価格は、気象や災害、盆・正月といった季節の影響などで変動し、生産者は大きな影響を受けます。価格が安くなりすぎると、収穫しても儲からないので、農産物は畑で廃棄されます。価格が高くなりすぎると、もっと種をまいておけばと、生産者は後悔します。

▶ 価格変動が予測できればロスを削減できそう

前もって価格の変動を予測して、生産をコントロールすれば、こういった不条理は減るはずです。例えば、